

情報 (各国の動向)

中国の社会組織について

孫 琳*

I はじめに

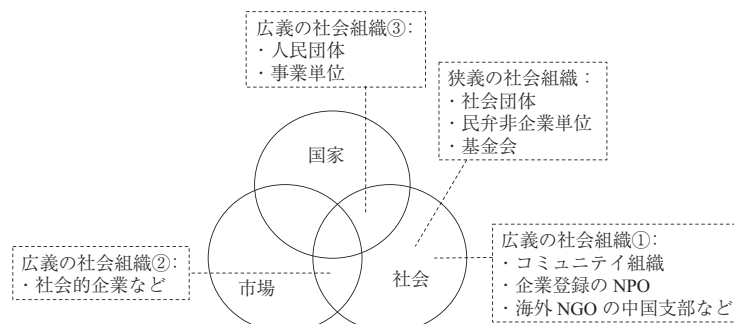
中国においては、改革開放政策以後、国際交流が盛んになるにつれ、社会組織が徐々に台頭し、成長し続けている。近年、中国の社会組織は、経済、教育、文化、社会生活などの広範な領域で重要な役割を果たしている。特に少子高齢化が急速に進行している現在、社会組織は福祉サービスの供給主体として注目されている。ここでは、以下の3つの側面から中国における社会組織の情報について整理する：(1) 社会組織の定義および特徴、(2) 社会組織の役割、(3) 今後の方向性。

II 社会組織の定義および特徴

中国の社会組織は、欧米の非営利組織 (NPO) と完全に同一の概念ではないが、政府とも企業とも異なるという特徴において、非営利組織と類似

している。「社会組織」という概念が最初に登場したのは2006年10月11日に公表された「中国共産党第16回中央委員会第6回全体会議公報」である。それ以前は、「民間組織」という概念が使われていた。

社会組織という言葉は中国政府の政策文書にしばしば登場しているが、社会組織が法理概念として、中国においては直接的に定義される法律や規則がまだに存在しない。また、社会組織の学術的な定義に関しては学者によって異なるが、一般的にいうと、社会組織とは、政府や企業以外の組織で、ある特定の分野に社会サービスを提供するものである。「公益性」、「非営利性」、「非政府性」(あるいは「自治性」)、「自発性」はその特徴である。そして、社会組織の種類を整理すると、狭義的な種類と広義的な種類の2つに分かれている。図1に示しているように、狭義の社会組織は民政部に登録された社会团体、民弁非企業単位および基金会(定義は後述)のことを指し、広義の社会



出所：〔王 (2013) p.16〕, 〔俞 (2016), p.57〕を参考に、筆者作成。

図1 中国における社会組織の種類

* 同志社大学大学院社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程

表1 社会組織の数と構成の推移

	2005年	2010年	2015年	2020年	2021年	2022年
社会团体	171,150	245,256	328,500	374,771	371,110	370,093
	53.52%	55.04%	49.59%	41.91%	41.15%	41.52%
民弁非企業単位	147,637	198,175	329,141	510,959	521,883	511,855
	46.17%	44.47%	49.69%	57.14%	57.87%	57.43%
基金会	975	2,200	4,784	8,432	8,877	9,319
	0.30%	0.49%	0.72%	0.94%	0.98%	1.05%
社会組織全体	319,762	445,631	662,425	894,162	901,870	891,267
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

注：社会組織全体は、社会团体、民弁非企業組織、基金会の合計。実数は団体数、%は構成比。

出所：中国国家統計局HP『中国統計年鑑2023』表22-23 <https://www.stats.gov.cn/sj/ndsj/2023/indexch.htm> (2024.3.3参照) をもとに筆者算定のうえで作成。

組織には、事業単位¹⁾、社会的企業、コミュニティ組織、海外NGOの中国支部などが含まれる。本稿では主に狭義の社会組織について整理していく。

上述したように、社会組織を直接に定義する法令がないが、1998年に公布された「社会团体登記管理条例」(2016年に改訂)と「民弁非企業単位登記管理暫行条例」(2016年に「社会服務機構登記管理条例」に改訂)、2004年に公布された「基金会管理条例」は、それぞれ社会团体、民弁非企業単位、基金会について規定している。

「社会团体登記管理条例」第2条によると、社会团体とは、「中国の公民が自発的に組織し、会員の共同意思実現のため、その定款に照らし活動を展開する非営利社会組織である」と定義されている。また、民弁非企業単位は、「民弁非企業単位登記管理暫行条例」(1998年)に基づき設立され、条例第2条によると、「企業、事業単位、社会团体とその他社会の影響力及び公民個人が非国有資産を利用し設立する、非営利性の社会サービス活動に従事する社会組織である」と定義されている。2016年の条例改訂により、「社会服務機構」に改名された。そして、「基金会管理条例」第2条においては、基金会を「自然人、法人またはその他組織が寄贈した財産により公益事業を目的として設立された非営利性法人」と規定している。基金会は

日本の財団法人に近い性格を有し、一般公募(募金活動)により資金を集める従来型の公募基金会と非公開型(基本財産の運用益等を収入とする)の非公募基金会がある。

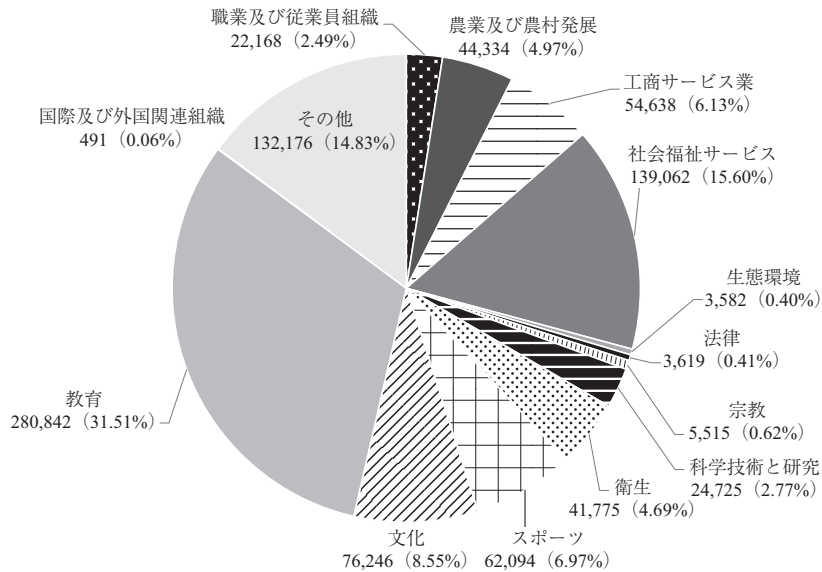
その後、2017年3月、「中国人民共和国民法総原則」は初めて「非営利法人」についての法的規定を設け、社会組織の法人格とそれに相応する権利と義務を明確にした。これにより、社会組織に関する制度政策が改善され、社会組織は急速に発展した。社会組織数の推移からみると、社会組織は全体的に増加している²⁾。また、2022年末時点で、社会团体は370,093団体あり、社会組織全体の41.52%を占めている。民弁非企業単位に関しては、前年より約1万の団体が減少したものの、511,855団体であり、社会組織全体の半分以上の57.43%を占めている。そして、基金会は社会組織全体の1.05%を占める9,319団体となる(表1)。

III 社会組織の役割

役割からみると、社会組織は政府機能と市場メカニズムの不足を補い、政府の公共事務管理や公共財の提供機能の一部を担うことができる。また、社会組織は政府と市民の間に立ち、市民の多面的なニーズを把握した上で、社会サービスを提

¹⁾ 行政の指導下に置かれ公共サービスを提供する組織であり、日本の独立行政法人に近いものと考えられる〔俞(2016), p.61〕。

²⁾ 2022年の社会組織総数は前年を下回ったが、その主な理由は、「ゾンビ型」社会組織の整理整頓活動で数万の社会組織の登記が取り消されたためであると考えられる。



出所：黄曉勇・徐明編（2023）『社会組織青書：中国社会組織報告（2023）』より筆者作成。

図2 2022年社会組織の現状（分野別）

供し、さまざまな領域で重要な役割を果たしている。

2006年、民政部は国際的な分類の仕方を参考に、中国の社会組織の特徴を考慮した上で、社会組織の新しい分類法を提示した。民政部によると、中国の社会組織を6つの大カテゴリー（経済、社会、環境、文化、国際、その他）と14つの小カテゴリーに分類することができる。図2は民政部の分類に従い、社会組織の現状を示したものである。2022年における中国の各分野の社会組織の現状をみると、教育分野と社会福祉サービス分野の社会組織が最も多いことが明らかになっている。特に社会福祉サービス分野においては、社会組織はその公益性や非営利性などの性格から、福祉サービスの供給主体として注目されている。

Ⅳ 今後の方向性

全体的にみると、社会組織の制度的環境は改善されつつあり、量的拡大とともに、その役割機能がより顕著になっている。一方で、社会組織の発展には依然として多くの困難と課題が残っている。

そこで、中国の社会組織の今後の方向性としては、以下2点のようにまとめていきたい。

1点目は、統一した社会組織に関する法律を制定することである。社会組織の法整備に関しては、これまでの全国人民代表大会において繰り返し議論されてきたが、社会組織を統一的に規定する法律がいまだに欠けている。2016年に制定された「慈善法」のような特定分野における関連法令や、「社会团体登記管理条例」などのような個別の規則があるが、推進主体が異なるため、効果的な連携・協働をとることが難しい。社会組織に関する法律の制定を通じて、比較的完全な法体系を構築し、社会組織全体の主体性がより発揮されることが期待できる。

2点目は、政府と社会組織の関係を明確にすることである。現在、社会組織には行政上の制約が多く、政府による育成や支援が少ないという現状がある。政府と社会組織は、それぞれの立場や姿勢の違いがあるため、相対的に独立しているが、両者の間には相互補完的な関係がある。社会組織のこれからの存続と発展のため、政府は可能な限り物質的・制度的な支援を提供することが求めら

れ、社会組織と対等な立場で対話・協議できるシステムを確立する必要がある。それと同時に、社会組織の公益性を維持・確保するため、組織自身の管理体制を強化するとともに、政府による監督を行うことも必要である。

参考文献

- 王名（2013）『社会組織網』社会科学文献出版社。
黄曉勇・徐明編（2023）『社会組織青書：中国社会組織報告（2023）』社会科学文献出版社。
兪祖成（2016）「中国におけるNPOセクターの現状と課題」『同志社政策科学研究』17（2），pp.53-67。

（そん・りん）